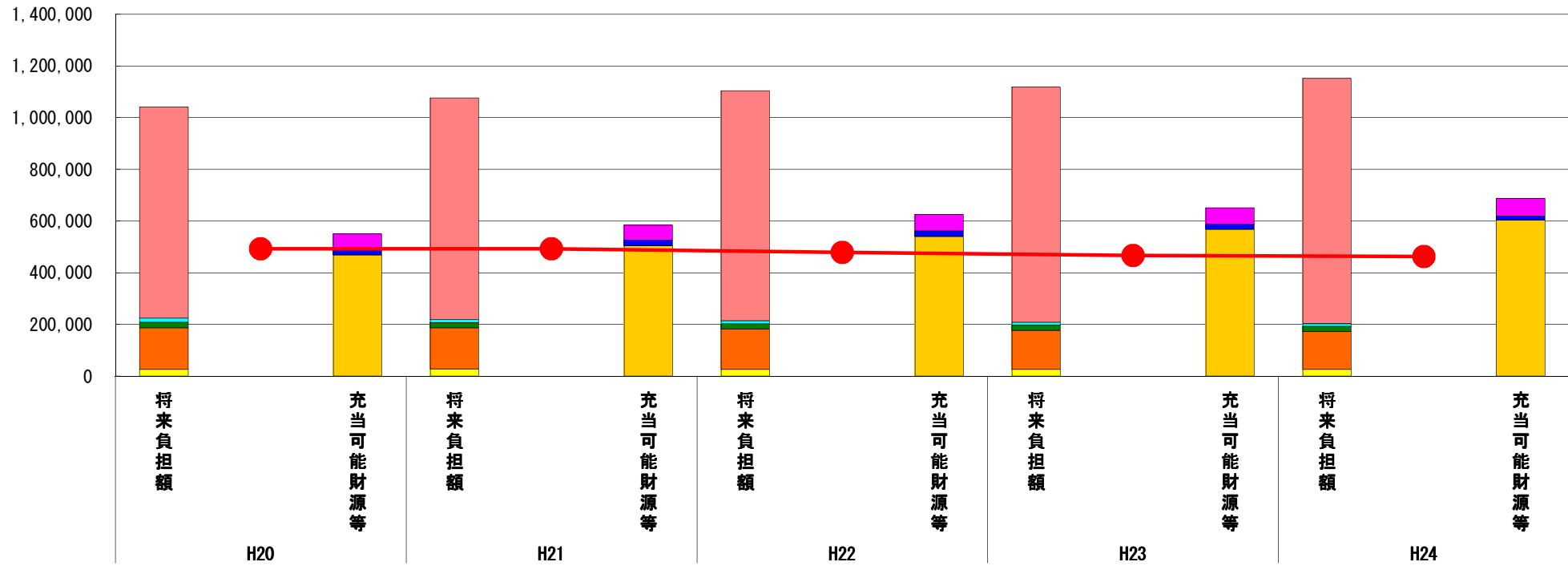


(8) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

平成24年度

和歌山県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		817,630	857,328	890,524	910,361	949,365
	債務負担行為に基づく支出予定額		14,603	13,261	11,862	10,884	9,822
	公営企業債等繰入見込額		22,662	19,467	19,031	19,906	19,333
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		160,631	158,462	156,545	151,333	146,278
	設立法人等の負債額等負担見込額		25,533	27,532	26,582	25,818	26,382
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		59,819	56,473	65,236	64,311	68,427
	充当可能特定歳入		21,122	23,374	21,565	18,543	15,686
	基準財政需要額算入見込額		468,201	503,287	539,404	568,575	603,719
(A) - (B)	将来負担比率の分子		491,918	492,917	478,339	466,873	463,348

分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高は臨時財政対策債等の発行増に伴い、390億円増加しているが、控除すべき基準財政需要額算入見込額はこれを下回る351億円の増加となっているため地方債に係る将来負担額は増加している。

さらに「新行財政改革推進プラン」に基づき職員の定数削減に取り組んだことで退職手当負担見込額が減少しており、将来負担比率の分子は、前年度に比べて35億円の減少となった。

今後は、退職手当債や行政改革推進債等の発行により、将来負担は増加していくおそれもあるため、事業の効率化・重点化により県債発行を抑制するなど行財政改革の推進により健全化を図っていく。